

学校の規模・配置に関するアンケート調査  
ご協力のお願い

宇陀市学校規模適正化検討委員会  
委員長 赤 沢 早 人

保護者の皆様には、日ごろから本市教育行政に対して格別のご理解・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では将来を担う子どもたちに、よりよい教育環境を整えるとともに、その維持向上を図ることを目的として、宇陀市学校規模適正化検討委員会において小・中学校の適正規模・適正配置について検討を進めております。

この調査は市立小・中学校の適正規模・適正配置についての基礎資料とするため、皆様のご協力をお願いするものです。

この調査の回答は全て統計的に処理し、上記の目的以外に使用することはありません。この調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

＜記入上の注意＞

- 1 氏名を記入していただく必要はございません。
- 2 回答は、特に指定がなければ、1問につき、1つだけ○をご記入ください。( ) 内に指示がある場合は、指示に従ってください。
- 3 兄弟姉妹が市立保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校に通っており、この調査票が複数届いた場合は、一番下のお子さんを通じて、1部だけご提出ください。
- 4 記入いただいた調査票は、12月20日(水)までに、園・所・学校に提出をお願いします。

連絡先 宇陀市教育委員会事務局 教育総務課 ☎82-3973

問1 あなたのお住まいの地域を、小学校校区でお答えください。

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1 大宇陀小学校校区 | 2 菟田野小学校校区 | 3 榛原小学校校区 |
| 4 榛原東小学校校区 | 5 榛原西小学校校区 | 6 室生小学校校区 |

問2 あなたのお子さんが現在通っている校種をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                |       |       |
|----------------|-------|-------|
| 1 保育所・幼稚園・こども園 | 2 小学校 | 3 中学校 |
|----------------|-------|-------|

問3 あなたは、小学校の1学級あたりの児童数について、どの程度が望ましいと思われますか。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 10人以下   | 2 11人～20人 | 3 21人～30人 |
| 4 31人～35人 | 5 36人～40人 |           |

問4 あなたが、問3で回答した理由に近いものはどれですか。(3つ以内に○)

- 1 一人一人の個に応じたきめ細かで丁寧な指導が期待できる。
- 2 学級で一人一人が活躍する機会がある。
- 3 先生の指導が行き届かなくなるのではと不安である。
- 4 子ども同士が刺激し合い、切磋琢磨する機会が増える。
- 5 友だち同士の関わりが少なく、コミュニケーション能力が育ちにくい。
- 6 たくさんの友だちから、多様な考えに触れることができる。
- 7 その他(上記以外に理由がある場合は、下欄に自由にご記入ください。)

問5 あなたは、小学校の1学年の学級数について、どの程度が望ましいと思われるか。

- 1 1学級            2 2～3学級            3 4～5学級            4 6学級以上

問6 あなたが、問5で回答した理由に近いものはどれですか。(3つ以内に○)

- 1 同じ友だちとずっと過ごせるのでお互いが理解し合え、親密になれる。
- 2 異学年での交流がしやすく、学年を超えた友だちができる。
- 3 学校行事等で一人一人が活躍する場があり、責任感が育つ。
- 4 友だち同士のトラブルがあった場合、クラス替えで環境を変えることができる。
- 5 人間関係が固定化・序列化する恐れがある。
- 6 PTA活動において、保護者の負担が少ない。
- 7 その他(上記以外に理由がある場合は、下欄に自由にご記入ください。)

問7 あなたは、中学校の1学級あたりの生徒数について、どの程度が望ましいと思われるか。

- 1 10人以下            2 11人～20人            3 21人～30人  
4 31人～35人            5 36人～40人

問8 あなたが、問7で回答した理由に近いものはどれですか。(3つ以内に○)

- 1 一人一人の個に応じたきめ細かで丁寧な指導が期待できる。
- 2 学級で一人一人が活躍する機会がある。
- 3 先生の指導が行き届かなくなるのではと不安である。
- 4 子ども同士が刺激し合い、切磋琢磨する機会が増える。
- 5 友だち同士の関わりが少なく、コミュニケーション能力が育ちにくい。
- 6 たくさんの友だちから、多様な考えに触れることができる。
- 7 その他(上記以外に理由がある場合は、下欄に自由にご記入ください。)

問9 あなたは、中学校の1学年の学級数について、どの程度が望ましいと思われますか。

- 1 1学級            2 2～3学級            3 4～5学級            4 6学級以上

問10 あなたが、問9で回答した理由に近いものはどれですか。(3つ以内に○)

- 1 同じ友だちとずっと過ごせるのでお互いが理解し合え、親密になれる。
- 2 異学年での交流がしやすく、学年を超えた友だちができる。
- 3 学校行事等で一人一人が活躍する場がある。
- 4 友だち同士のトラブルがあった場合、クラス替えで環境を変えることができる。
- 5 人間関係が固定化・序列化する恐れがある。
- 6 たくさんの友だちや先生から、多様な考えに触れることができる。
- 7 部活動等の種類・内容が制限される。
- 8 その他(上記以外に理由がある場合は、下欄に自由にご記入ください。)

問11 小学校まで徒歩通学する場合、通学時間はどの程度までが、通学可能な範囲と考えますか。

- 1 15分未満            2 15分以上30分未満            3 30分以上45分未満  
4 45分以上60分未満            5 60分以上

問 1 2 小学校までスクールバスで通学する場合、通学時間はどの程度までが、通学可能な範囲と考えますか。

- 1 15分未満                      2 15分以上30分未満                      3 30分以上45分未満  
4 45分以上60分未満                      5 60分以上

問 1 3 中学校まで徒歩または自転車で通学する場合、通学時間はどの程度までが、通学可能な範囲と考えますか。

- 1 15分未満                      2 15分以上30分未満                      3 30分以上45分未満  
4 45分以上60分未満                      5 60分以上

問 1 4 中学校までスクールバスで通学する場合、通学時間はどの程度までが、通学可能な範囲と考えますか。

- 1 15分未満                      2 15分以上30分未満                      3 30分以上45分未満  
4 45分以上60分未満                      5 60分以上

問 1 5 児童生徒にとってどのような教育環境が必要だと考えますか。(3つ以内に○)

- 1 子ども同士が刺激し合い、学力・体力を高め合うことができる環境
- 2 一人一人が行き届いたきめ細かな指導を受けられることができる環境
- 3 社会性や協調性、コミュニケーション能力を身につけることができる環境
- 4 たくさんの友だち、先生と触れ合うことができる環境
- 5 多様な学習形態の授業により、個々の能力を高めることができる環境
- 6 ICTを活用した遠隔授業を受けられることができる環境
- 7 部活動が充実している環境
- 8 義務教育の9年間を一貫して教育を受けられる環境（小中一貫校・義務教育学校【注1】）
- 9 その他（上記以外に理由がある場合は、下欄に自由にご記入ください。）

【注1】 小中一貫校・・・既にある小学校・中学校を組み合わせ、9年間の一貫教育を行う学校  
義務教育学校・・・小学校課程から中学校課程までの義務教育の9年間を一つの学校として一貫して行う新しい学校

ご協力ありがとうございました。